

地方公共団体との研究会について

1. 研究会の趣旨・目的

地方公共団体において行政改革の手法として、「市場化テスト」が注目されているところであるが、その導入にあたっての共通課題について検討し、より円滑に導入が進むように環境整備を図る必要がある。

このため、官民競争型市場化テストや、法に基づく市場化テストに積極的に取り組もうとする地方公共団体を中心として、市場化テストを導入するにあたっての諸課題を整理、検討することにより、市場化テストを導入しようとする地方公共団体の取組みを支援していくことを目的として、専門委員等の協力を得て、平成 19 年 6 月から平成 20 年 1 月まで 5 回に渡り研究会を開催した。

2. 参加者

(1) 地方自治体

北海道、東京都、埼玉県、愛知県、大阪府、和歌山県、岡山県、
中野区、足立区、横浜市、多治見市、堺市、倉敷市、佐賀市

(2) 専門委員等

稲沢 克祐 専門委員（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授）

佐藤 徹 専門委員（高崎経済大学地域政策学部地域政策学科准教授）

（オブザーバー）

福嶋 浩彦氏（中央学院大学客員教授）

岸 道雄 氏（立命館大学政策科学部教授）

宮地 義之氏（（財）日本経済研究所調査局調査第二部副部長）

3. 開催状況

稲澤専門委員の司会進行のもと、地方公共団体からの事例紹介、専門委員等のプレゼンテーションを交え、地方公共団体の担当者、専門委員等による意見交換・議論を行った。

第1回 H. 19. 6. 18	・研究会の進め方について
第2回 H. 19. 7. 13	論点1. 「市場化テスト」になぜ取り組むのか ・「市場化テスト」の意義、他の手法との使い分け、 ・「市場化テスト」によって目指すもの ・「市場化テスト」の成果、実践例
第3回 H. 19. 8. 28	論点2. 「市場化テスト」の実務的課題 ・公共サービスの質の設定と評価について ・官のコスト把握について
第4回 H. 19. 10. 26	・公共サービスの質の設定と評価について ・官のコスト把握に関する実務的課題について ・モニタリングについて ・市場化テストをめぐるその他の実務的課題について
第5回 H. 20. 1. 17	・モニタリングについて 論点3. 官民競争入札の実施にあたっての課題

4. 研究成果について

- ・研究会での論点を整理し、地方公共団体で市場化テストを導入する際の実務上の参考に資するため、報告書を今年度中に作成するとともに、地方公共団体職員向けの普及啓発資料（パンフレット）を作成。

報告書骨子(案)

1. 自治体の市場化テストに関する整理

- 公共サービス改革法との整理、総務省行政改革推進指針における市場化テストの位置づけ等、国が市場化テストに関し地方公共団体に対して示す指針・方針・考え方等を整理。

2. 市場化テストの取組状況の把握

- 地方公共団体における市場化テスト（官民競争入札・民間競争入札）の取組状況の整理。

3. 市場化テストの実務的課題

- 自治体研究会であげられた論点等を中心に、考え方、参考となる事例等を整理。
 - (1) 公共サービスの質の設定と評価
 - ・ P F I ・ 指定管理者制度での事例や行政評価における評価指標等を整理。また、我孫子市等の協働化の取組にみる住民参加による質の設定、評価の事例等も整理。
 - (2) 官のコスト
 - ・ 研究会での指摘事項等を踏まえ、国のコストガイドラインをもとに、わかりやすい手引書的内容を整理。
 - (3) モニタリング
 - ・ 研究会での議論をもとにモニタリングにかかる論点を整理し、留意すべき事項等についてチェックリスト形式で整理。
 - (4) その他
 - ・ 研究会で出てきた問題点を整理
 - (例) ・ 総合評価方式の導入における問題点等

4. 官民競争入札の実施にあたっての課題

- ・ 1/17 の研究会での議論を踏まえ整理。